

社会インフラの
high quality
を未来へ伝えます。

＝ 構造物非破壊検査業 ＝

株式会社
仙台エンジニアリング

営業案内

非破壊試験部門

概要

商号 株式会社仙台エンジニアリング
<http://sendai-engineering.justhpbbs.jp/>
設立 創業 平成 5 年 9 月 27 日
設立 平成 11 年 1 月 6 日
資本金 払込資本金 10,000 千円
所在地 本社 〒985-0834
宮城県多賀城市丸山一丁目6番8号
TEL 022-366-7527 FAX 022-353-5610
E-Mail sec-honsha@jupiter.ocn.ne.jp
多賀城事務所 〒985-0835
宮城県多賀城市下馬五丁目4番20号
TEL 022-364-7172 FAX 022-352-8710
E-Mail sendai-engineering@leaf.ocn.ne.jp
営業内容 建築鉄骨溶接部超音波探傷試験
鉄筋圧接・溶接部超音波探傷試験
超音波試験によるコンクリート強度測定
ボス供試体の作成及び圧縮強度試験
アンカーボルト、ロックボルトの施工後長さ測定
浸透探傷試験、鉄筋探査
非破壊試験学科及び実技指導
代表者 代表取締役 高橋敬一
取引銀行 七十七銀行 仙台銀行

沿革

1993年9月 仙台エンジニアリングサービスを創業
1993年9月 建築鉄骨溶接部検査開始
1998年1月 鉄筋溶接・圧接部検査開始
1999年1月 有限会社仙台エンジニアリング設立
2004年1月 鉄筋探査開始
2005年1月 鉄筋ガス圧接部波形記録検査開始
2008年2月 コンクリート強度測定開始
2008年2月 ボス供試体の作成及び圧縮強度試験開始
2011年2月 鋼製防護柵の根入れ長さ測定開始
2012年11月 株式会社仙台エンジニアリングに商号変更

これからの新しい超音波探傷試験

超音波探傷試験のメリットは何といっても経済性、安全性、検査結果の俊敏性でしたが唯一、探傷データの記録はレントゲンのようにフィルム等で記録を残すことが一般には出来ませんでした。

今までの超音波探傷試験では探傷箇所の記録を検査担当者が報告書に記入する形で検査を実施してきましたが、ここ数年来超音波探傷器のデジタル化が進み、波形データを画像として保存することが可能になりました。

当事業所では探傷器のデジタル化及び探傷データの処理技術の向上に努め、今までの超音波探傷試験と同程度のコストで波形データの記録を報告書に添付することが出来るようになりました、これにより超音波探傷試験の確実性、信頼性、再現性が一層高まるものと考えております。

使用器材一覧

超音波探傷器	KrautKamer	USN58L, USM35X
	PANAMETRICS	EPOCHⅢ
	TOKIMEC	SM101
	菱電湘南エレクトロニクス(株)	UI-25・27
鉄筋探査器	日本無線(株)	NJJ-95A
コンクリート強度測定器	(株)東横エルメス	エルソニックメーター
超音波斜角探触子	JapanProbe	5Z10×10A45 その他
超音波垂直探触子	JapanProbe	5Z10N 5Z20N
超音波垂直探触子	パナメトリクス	5C14N
圧接用探触子	JapanProbe	5C5×5A70
横波垂直探触子	Tokimec	5Z10×10N-Y
	圧接検査用ゲージ、デジタル式アンダーカットゲージ	
	その他検査機材各種	

資格一覧

社団法人日本非破壊検査協会	UTレベル3	3名
社団法人日本非破壊検査協会	UTレベル2	3名
社団法人日本非破壊検査協会	PTレベル2	1名
社団法人日本鋼構造協会	建築鉄骨超音波検査技術者	3名
社団法人日本鋼構造協会	建築鉄骨製品検査技術者	2名
社団法人日本圧接協会	鉄筋ガス圧接部超音波検査技術者	3種 3名 1G種 5名
社団法人日本非破壊検査工業会	コンクリート中の配筋探査講習会終了証	4名
社団法人日本非破壊検査協会	ボス供試体の作成方法及び圧縮強度試験方法講習会終了証	5名
独立行政法人土木研究所	微破壊・非破壊試験を用いたコンクリート強度推定講習会終了証	5名

